

daily コラム

2024年11月19日(火)

〒308-0842 茨城県筑西市一本松 624-3

税理士法人和敬会筑西事務所 TEL 0296-22-3689 FAX 0296-25-0627

Email tfc@wakei-kai.com

AI × 人 データが変えるスピードと正確性

空前の AI ブーム

近年、AI 技術の進化が急速に進み、特に「生成 AI」の登場は、ビジネスにおける意思決定のスピードと正確性を飛躍的に向上させています。この AI ブームにより、企業はデータを活用して、迅速かつ的確な経営判断を下すことが求められるようになりました。特に、リアルタイムでのデータ分析が可能となり、日々変化する市場動向にも即応できる体制が整いつつあります。

AI がもたらす経営判断の変化

従来の月次決算では、変化の激しい市場に対応しきれないことが多くありました。しかし、AI を活用したリアルタイムデータ分析により、日次や週次レベルでの業績把握が可能となり、経営者は迅速に判断できるようになります。例えば、ソフトバンクグループが提供する「サキミル」は、売上データや天候を分析して需要を予測し、企業の在庫管理や戦略的な意思決定に役立っています。

顧客ターゲティングと業務効率化

AI は顧客ターゲティングにも貢献します。従来の手法では、担当者の経験に頼っていた部分が多いですが、AI は膨大な顧客データを分析し、より精度の高い顧客セグメン

トを作成します。株式会社 ZOZO の「WEAR」では、AI がユーザーの好みに合ったファッションを提案し、顧客満足度を向上させています。

また、日清食品では、社内 AI チャットボット「NISSIN AI-chat」を導入し、従業員からの問い合わせや書類作成支援を自動化しています。これにより、業務負担が軽減され、生産性が向上しました。

助成金活用と AI 導入

AI 導入のコストを抑えるためには、国や自治体が提供する助成金や税制優遇を活用することが重要です。例えば、「IT 導入補助金」は、中小企業が AI を導入する際にその費用の一部を補助します。また、自治体独自の助成金もあり、これらを利用することで初期コストを軽減できます。

コツは導入を目的にしないこと

AI は、正しく活用することで企業の成長を加速させるツールとなります。しかし、導入は目的ではなく、戦略に基づく手段であることを忘れないようにしましょう。企業の課題を明確にし、適切な AI 技術を選定し、導入効果を最大化することが重要です。



目的ではなく手段
であることをお忘れなく。